

## 24年度陽南小学校「うつのみや学校マネジメントシステム」学校評価書

※ 網掛けのない部分が計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

### 1 教育目標（目指す児童生徒像含む）

心身ともに健康で創造性に富み、心豊かで実践力のある児童を育成する。

#### 【具体目標】

#### 【目指す児童像】

- (1) 自ら学び、ねばり強く努力する児童———楽しく学ぶ子【かしこく】（自主・思考・判断・創造）
- (2) 思いやりをもち、助け合う児童———仲よく助け合う子【なかよく】（思いやり・責任・協調・協力）
- (3) 健康と安全に留意し、元気に活動する児童——元気に活動する子【たくましく】（明朗・気力・体力・実践力）

### 2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

学校教育の目標は、「人間尊重の教育」を基盤として、21世紀の担い手として主体的に生きることができる、心身ともに健康でたくましい人間の育成を目指している。そのためには、自然や人を愛し自他を慈しむことのできる豊かな感性や強い体力・精神力を培ったり、自ら考え進んで学んでいこうとする意欲に満ちた態度を身に付けさせたりする等、知・徳・体の調和のとれた人間の育成を図ることが大切である。さらには、一人の人間として、自分の生き方についての考え方をもち、よりよい生き方を求め、自分らしく生きていくとともに、社会の一員としての自覚と責任をもち、広い視野に立って、積極的に他と協調し連携を図りながら、よりよい社会を築いていくために努力していきける能力や態度を身に付けさせていくことが必要である。これらのことを踏まえ、且つ現存する物的・人的環境を最大限に生かし、総力を結集して教育を推進し、本校の教育目標の具現化を図れるように努力していきたい。

#### 【目指す学校像】

- (1) 子どもにとって、楽しい、通いたい学校（居がいのある学級と仲間、分かる喜び）
- (2) 保護者にとって安心して、通わせたい学校（開かれた学校、理解と協働体制）
- (3) 地域にとって信頼し協力したい学校（開かれた学校）
- (4) 職員にとって、助けあえる仲間がいる、働きたい学校（職員の和・協働体制）

### 3 学校経営の方針（中期的視点）

全教職員が信頼と和を基盤にした協働体制のもと、「不易と流行」をしっかりと把握し、教育目標の具現化のために英知を結集して活力ある教育活動を推進しながら、居がいのある学校づくりに努める。

- (1) コミュニケーション能力を育て豊かな心を醸成する教育活動を積極的に推進し、心豊かでたくましく生きる児童を育成する学校づくりに努める。
- (2) 深い児童理解のもと、小中一貫教育の推進による9年間を見通した確かな学力の向上を目指し、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、「分かる授業」を展開し、活力ある学校づくりに努める。
- (3) 自他の生命を尊重し、一人一人が生き生きと安心して学校生活を送ることができる、健康で安全な学校づくりに努める。
- (4) 学校課題研修や教師の自己研鑽に基づいた校内研修を充実させ、教職員個々の指導力及び資質の向上を図るとともに、一人一人の能力や特性を生かしながら、児童とともに伸びる学校づくりに努める。
- (5) 学校・家庭・地域社会との連携を密にして、開かれた学校づくりの更なる推進に努める。

### 4 今年度の重点目標（短期的視点）

#### （学校運営）

- ・豊かな心の育成に向けた、様々な取組みの充実

#### （児童生徒指導）

- ・基本的な生活習慣を守り、場に応じて適切に判断したり自主的に行動したりできる児童の育成

#### （健康・体力）

- ・自ら進んで心と体の健康づくりに取り組む児童の育成

#### （学習指導）

- ・自分の思いを伝えあい、互いに認め合う児童の育成

5 自己評価（Aは共通評価指標、Bは学校独自評価指標）

（評価指標の【全】は、全体アンケート実施）

（「主な具体的な取組の方向性」には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入）

項目	評価指標	主な具体的な取組	方向性	評価 (%)	
教育全体の状況	<p>A1 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。【全】</p> <p>【数値指標】</p> <p>「自分は、今の学校が好きである」</p> <p>⇒児童の肯定的回答80%以上</p> <p>【数値指標】</p> <p>いじめの解消率100%</p> <p>不登校解消率100%</p>	<p>① 児童一人一人が所属感と安定感をもった居がいのある学級作りに向けて、Q-U検査やアンケート・日常の交友関係の観察により、児童の実態を把握し、問題があるときはすぐに対策を講じる。学年間の連携も図る。</p> <p>② いじめの早期発見のため、学校をよりよくするアンケートを5月・9月・11月・2月に実施し、実態を把握する。</p> <p>③ いじめ・不登校の早期発見・早期対応・解決に向けて、児童指導委員会学年会・ブロック会で情報交換し、教育相談を6月と12月に実施する。また、校内で改善しない家庭環境が背景の不登校については、関係機関（市教育センター・民生員・主任児童委員・児童相談所・市役所子ども課）と連携をとり、各担当からも働きかけを行うようにして、改善を図る。（学校評価からの改善）</p> <p>④ 常の指導で問題が起きたときは、児童指導主任・安全主任・学年主任等と連携を図ってすぐ集合して対策を話し合い、対応策を学年に持ち帰って各クラスで指導をし、素早い対応に努める。また、職員会議の折に児童指導委員会を行い、各学年の児童の様子を伝えるようにしていく。（学校評価からの改善）</p>	B	<p>【数値指標達成状況】</p> <p>・児童の肯定的回答は96.5%であり、指標の80%を上回った。</p> <p>【次年度の方針等】</p> <p>・②③については、学校をよりよくするアンケートや児童指導委員会は、実態把握に役立っている。今後も継続して実施し、早期の問題発見・問題解決につなげていけるよう努める。</p>	
	<p>A2 教職員は、組織の一員として誠実で熱心に教育に当たっている。【全】</p> <p>【数値指標】</p> <p>「先生方の授業は分かりやすく一人一人丁寧に教えてくれる。」</p> <p>⇒児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 学校教育目標具現化に向けた学校経営のもと、一人一人を大切に、児童のよさを認め伸ばす学級経営に努める。</p> <p>② 児童の理解度をもとに、具体物の操作や教材教具の工夫を取り入れた「分かる授業」を展開し、基礎・基本の確実な定着を図る。</p> <p>③ 授業参観後の懇談会で、学校で指導していること、家庭で指導することを伝え理解・協力を求めていく。（学校評価からの改善）</p>		B	<p>【数値指標達成状況】</p> <p>・児童の肯定的回答は97.3%であり、指標の80%を上回った。</p> <p>【次年度の方針等】</p> <p>・②については、一人一授業を継続し、教員の授業力向上のための学び合いの場を確保する。</p>
	<p>A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり、安全な学校生活をしている。【全】</p> <p>【数値指標】</p> <p>「児童（生徒）は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している。」</p> <p>⇒児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 学校の決まり「陽南のよい子」に従って、全教職員の共通理解のもとに常時指導を継続し、「陽南のよい子10の約束」で自分の生活を振り返り、規範意識を高め、判断力・実践力を育てる。（学級に応じて、年3回実施）</p> <p>② あいさつ、言葉遣い、返事などを重点目標にして、スモールステップで目標が定着するまで時間をかける。生活目標については、朝の会等で唱和させて意識化を図るようにする。（学校評価からの改善）</p>		B	<p>【数値指標達成状況】</p> <p>・児童の肯定的回答は87.1%であり、指標の80%を上回った。</p> <p>【次年度の方針等】</p> <p>・①②については、あいさつや廊下の歩行など指導の焦点化を継続し、児童の意識の定着を図っていく。</p>

	<p>A4 教職員は分かる授業やきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 十分な教材研究のもと、本時の学習目標を明確にし児童の理解度に合わせた作業用紙やヒントカード・ヒントコーナー・教材教具を準備し、学習内容のまとめが分かりやすい板書に心がけ、授業力アップに努める。また、本年度の学習指導の課題である、自分の考えを表現できる児童育成のために、意見を取り上げ認め励まし、自信を持って意欲的に取組める支援の場を設定していく。(学校評価からの改善)</p> <p>② 少人数担当との連携を図り、学年習熟度別学習や学級内習熟度別学習・コース別学習・TT等、単元によって学習体制を替えて効果的な学習の進め方を取り入れていく。本年度の学習課題「自分の思いを伝え合い、互いを認め合う児童の育成」に向けて、学習形態の工夫や場の設定をし、自信をもって自分の考えを伝え合うことができるようにしていく。授業での個々のつぶやきなどにも目を向け、取り上げ認め励ますよう努める。</p> <p>③ 学校生活の場面でも、表現する前段階までの基礎(聞き方、話し方)がまだ十分に身に付いているとはいえないので、伝え合うスキルを高めていくよう指導していく。(学校評価からの改善)</p>	<p>【数値指標達成状況】 ・児童の肯定的回答は97.1%であり、指標の80%を上回った。</p> <p>【次年度の方針等】 ・②については、少人数担当と担任とが連携を継続し、学習進度の調整をさらに綿密に実施する。 ・③については、会話科の学習やコミュニケーションスキルタイムにより、伝え合うスキルを高める効果があった。今後も内容のさらなる充実を図り継続実施する。 ・③については、1年生から6年生まで、系統立てて指導していただけるよう、聞き方や話し方の決まりなど、共通の掲示物を作り、児童の意識を高める方策を検討していく。</p>
	<p>A5 日課、授業、学校行事など教育課程は、適切に実施されている〔全〕</p> <p>【数値指標】 「自分は、学校での生活や様々な活動が充実している」 ⇒児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>① ゆとりと充実感のある学校生活を目指し、行事の精選をする。また、学校、学年ごとに教科(社会科・生活科等)の関連した時期に、関連した場所に決定する。(学校評価からの改善)</p> <p>② 学校行事や児童会活動に、児童が主体的に活動する場面を多く取り入れ、児童の主体性や企画・運営力を育てる。</p> <p>③ 宇都宮市小中一貫教育の方針に従って、適切な時数を確保し、夏季休業中3日、土曜授業2日を含めて、知・徳・体の調和のとれた教育課程の編成・実施に努める。(学校評価からの改善)</p>	<p>【数値指標達成状況】 ・児童の肯定的回答は94.1%であり、指標の80%を上回った。</p> <p>【次年度の方針等】 ・②については、児童の主体的な活動を引き出す場の設定と、効果的な教師の支援の在り方を考え継続実践する。</p>
<p>学 校 運 営 の 状 況</p>	<p>A6 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」 ⇒保護者の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 月1回配布の学校便り(地域にも回覧)・学年便り・保健便り・図書館便り・給食便りや学校ホームページ等を通して、保護者や地域住民に学校・児童の様子を知らせる。学校便りについては全職員が参加して、様々な学校行事の責任者が内容を担当するなどして、今まで以上に学校の取り組みが分かるようにしていく。</p> <p>② 授業参観やオープンスクール等の時に、学校経営方針や児童の実態を説明し、児童の様子を見てもらう。学校の取り組みを理解してもらうためにも、4月の授業参観の全体会で学校経営方針・6月の学級懇談で学級経営方針をしっかりと説明して、理解協力を求めている。(学校評価からの改善)</p> <p>③ 出前講座・音楽集会・児童集会等も積極的に公開し、学校教育の現状を見ていただくことにより、本校の教育活動への理解を深めるようにする</p>	<p>【数値指標達成状況】 保護者の肯定的回答は96.2%であり、指標の80%を上回った。</p> <p>【次年度の方針等】 ・①については、「〇〇便り」の中に児童の様子や学校の具体的な取り組みを明確にし、保護者の学校理解を深める。 ・②については、今年度同様、年度当初に「学校経営方針」を保護者に配布し、PTA総会に参加しない保護者にも、周知徹底していく。 ・③については、「講座」や「出前教室」の開催を今後も積極的に保護者に呼びかけ、教育活動を公開し「開かれた学校」の実現に努める。</p>

	<p>A7 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。[全]</p> <p>【数値指標】 「学校は、家庭、地域、企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒保護者の肯定的回答80%以上</p> <p>A8 校内は、学習にふさわしい環境となっている。[全]</p> <p>【数値指標】 「学校は、清掃がしっかり行われ、学習しやすい」 ⇒児童の肯定的回答80%以上</p> <p>B1 常に自己研鑽に励み、工夫と研究を積み重ねる教職員を目指して、行動基準表の目標達成に取り組む。</p> <p>【数値指標】 行動基準表の目標A達成率＝自己評価で80%以上</p>	<p>① P T Aによる水曜日夜校時の立哨・みまもり隊、地域の方々による青色パトロール隊等との連携を図り、学校とP T A・地域安全パトロール隊が一体となって、児童の登下校の安全に努めていく。</p> <p>② 地域協議会で学校運営について支援を受け、児童の教育・安全の充実に努める。</p> <p>③ 頑張る学校プロジェクト「人とのふれ合い活動」を積極的に推進し、地域教育的施設・資源（独居老人・幼稚園・保育園）との交流を通して、コミュニケーション能力の育成や相手を思いやる心・助け合う心を養う。「総合的な学習の時間」で「福祉」を中心とする4学年と、生活科で1・2年が交流のメインになるが、交流の様子などの情報発信に努め、学校便り・学年便り・学校ホームページ等の活用により、学校の取り組みを知らせていく。(学校評価からの改善)</p> <p>④ 1年「昔遊び」・3年「昔の人の暮らし」の単元では、地域人材及び保護者ボランティアにも協力を求め、その活用を図る。(学校評価からの改善)</p> <p>① 校内掲示の決まりに合わせて、室内は整然と整えられ、清潔感あふれ落ち着いた温かい雰囲気の中で、学習に集中できるように努める。</p> <p>② 縦割り班編成後、清掃場所の必要人数により、適切な班の数を割り出す。その後、清掃班長会議を開き、場所に応じた清掃方法を指導する。毎日の清掃時には教職員も一緒に清掃し、その場でも発達段階に応じた具体的指導を行う。その際、清掃用具のチェックを行い、交換の必要性や児童の安全性も考慮する。また清掃マニュアルや清掃チェックカードの活用により、児童側からも気持ちよい学習環境に努める意識を高める。(学校評価からの改善)</p> <p>③ 毎月の施設・設備の安全点検により、修繕・補修を迅速に行い、安全安心な学習環境を整える。</p> <p>① 職員評価制度に基づいた自己行動規準表を作成し、自分の目標達成に向けて日々実践・努力をする中で、自己を高めていく。</p>	<p>【数値指標達成状況】 保護者の肯定的回答は92.3%であり、指標の80%を上回った。</p> <p>【次年度の方針等】 ・①については、教職員のブロック単位で下校時の立哨指導を組織的に実践する。 ・③④については、各学年で計画を立てて実施しているので、今後もその様子を学年便り等で、広く発信していく。</p> <p>【数値指標達成状況】 児童の肯定的回答は92.62%であり、指標の80%を上回った。</p> <p>【次年度の方針等】 ・①については、「校内掲示の決まり」を確認し、いつも室内を整然と整えるよう努める。 ・②については、清掃マニュアルの見直しをして、各清掃用具の内側に貼るようになる。各準備室や資料室の清掃について定期的実践する。 ・③については、緊急対応ができる体制を継続し、環境整備に努める。</p> <p>【数値指標達成状況】 教職員の肯定的回答は96.4%であり、指標の80%を上回った。</p> <p>【次年度の方針等】 ・各経験年数に応じた目標を設定し、自己研鑽に励んでいく。</p>
<p>教育活動の状況</p>	<p>A9 児童は進んであいさつをしている。[全]</p> <p>【数値指標】 「児童（生徒）は、あいさつをしている」 ⇒児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 全職員が率先してあいさつし、学級輪番制によるあいさつ運動を通年実施し、児童会との協力を図りながら元気なあいさつの習慣化を図る。 (地域学校園であいさつ運動を実施する。)</p> <p>② あいさつについて児童の意識化は図れていると考えられるが、聞こえなければ意味がないということ学級指導や授業などで継続的に指導する。また、意欲</p>	<p>【数値指標達成状況】 A9・児童の肯定的回答は91.8%であり、指標の80%を上回った。 A10・児童の肯定的回答は86.3%であり、指標の80%を上回った。</p> <p>【次年度の方針等】 ・①については、あいさつ運動の継続的な取り組みにより、児童の意欲、意</p>

	<p>A10 児童（生徒）は、正しい言葉づかいをしている。</p> <p><b>【数値指標】</b> 「児童（生徒）は正しい言葉づかいをしている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p> <p>B2 基本的な生活習慣の確立と徹底を図る。</p> <p><b>【数値指標】</b> 「児童は陽南のよい子の決まりを守って、安全に行動している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>向上のために、「あいさつ表彰」を実施する。さらに家庭での指導も学年だより等でお願していく。</p> <p>③ 生活目標で時と場に応じた「言葉づかい」について取り上げ、スモールステップにして、身に付くまで時間をかけて指導していく。 (学校評価からの改善)</p> <p>① 安全な生活を目指して、「陽南のよい子」をもとに、校内・外での過ごし方や遊び方のルールを指導する。</p> <p>② 安全に遊ぶ決まりについて学校と放課後の留守家庭との指導にズレがないよう、校庭の使い方や・遊び方のルールの共通理解を図り、安全に行動できるよう指導していく。(学校評価からの改善)</p> <p>③ 地域の方（安全見守りパトロール隊等）、子どもの家、キッズスペースなどにも「陽南のよい子」を配付して、安全面や登下校について具体的にその場で指摘してもらうようにしていく。また、オープンスクールなどで児童の校外での様子の情報を集めるようにして、次の指導に生かしていく。(学校評価からの改善)</p>	<p>識は大きく向上している。さらに家庭や地域を含む社会を意識した取り組みに発展させるよう努める。</p> <p>・②については、あいさつ表彰により、あいさつの活性化を高めていく。</p> <p>・③については、生活目標を振り返る場の設定をする。また、ことばの時間については、家庭でも言語に関心を持てるように、授業参観や保護者会などでお願していく。</p> <p><b>【数値指標達成状況】</b> 児童の肯定的回答が92%に達しており、指標の80%を上回っている。</p> <p><b>【次年度の方針等】</b> ・①②に関して「安全な遊び方」「安全な行動」の具体的な指針を見直し、共通理解のもと指導にあたる。</p>
<p>健康・体力</p>	<p>A11 児童（生徒）は、進んで運動する習慣を身に付けている。(全)</p> <p><b>【数値指標】</b> 「児童は、休み時間や放課後などに、進んで運動している。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p> <p>B3 体力づくりの工夫と運動量の多い体育授業の展開に努める。</p> <p><b>【数値指標】</b> 2～6年 「自分は昨年度の検定表の級より少しは上がった」 1年 「自分の目標を決め、毎日練習に取組んだ」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 「うつのみや元気っ子チャレンジ」の奨励し、学級やグループでの外遊びを主体的にできるようにする。</p> <p>② 休み時間に児童会主催のスポーツ大会等と呼びかけ、楽しく運動する場を設ける。</p> <p>① 体力テストの結果をもとに、毎時間ごとに補助運動（サーキット運動）取り入れる。</p> <p>② 体力向上のため、地域学校園内で共通の検定表（水泳・なわとび）を作成し活用する。</p> <p>③ 元気っ子健康体力チェックの結果を踏まえて、教科体育で補強運動をしたり、日常行動・動作を工夫することによる体力づくりを継続したりする。 検定表については、地域学校園で統一して、系統性・客あるものを作成し、効果的に活用する。</p> <p>④ 各種検定の結果を積み重ねて記録できるものを作成し、目標を持って運動に取り組めるようにする。(学校評価からの改善)</p>	<p><b>【数値指標達成状況】</b> 児童の肯定的回答は87.4%であり、指標の80%を上回った。</p> <p>・①については、宇都宮元気っ子「ミニマム」の更なる達成率の向上を図れるよう、未達成の種目が達成できるような補助運動を取り入れていく。</p> <p>児童の肯定的回答87.4%であり、指標の80%を上回った。</p> <p>・②については、水泳検定表の検定項目に児童の実態に合わない級があるので、学年に応じた表の作成など、児童の意欲向上に効果的な基準作りをしていく。</p>

	<p>A12 児童（生徒）は栄養のバランスを考えて食事をしている。[全]</p> <p><b>【数値指標】</b> 「自分は、好き嫌いなく給食を食べている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p> <p>B4 安全に行動できる資質や能力を育成するために、関係機関と連携して様々な取り組みを実施する。</p> <p><b>【数値指標】</b> 「自分は、安全や保健の学習で、安全に行動すること健康に害のあること・やっ てはいけなことが分かって、正しいことをやろう と思う。」 ⇒児童の肯定的回答 100%</p>	<p>① 食育パンフレット」の配布やオープンスクール等での朝食摂取啓発ビデオ視聴また地域学校園で作成した「食育ファイル」を通して、食の大切さを啓発していく。また家庭訪問・学級懇談・個人懇談等で食事について話題にして、各家庭の事情がある中でもいろいろな工夫により、改善が図られるよう働きかけをする。（学校評価からの改善）</p> <p>② 毎月配付の学年便りや各学級に食育コーナーを設け学校共通の記事を掲載することによって、食事のマナーや栄養素についての意識を高める。とともに地域学校園で「お弁当の日」を同日開催し、食への意識を高める。</p> <p>① 安全に行動できる資質や能力を育成するために、より具体的・実践的な取り組みをしていく。 ○各学年で実施（警察と交通安全教） ・警察スクールサポーターと防犯教室（1年） ・防犯会社と非行防止教室（3年） ・自転車安全教室（4年） ・携帯電話についての講座（6年） ・学校薬剤師と喫煙防止教育（5年） ・警察と薬物乱用防止教室（6年） ○全校で実施 ・警察スクールサポーターと不審者対応避難訓練 ・消防署と地震対応避難訓練</p>	<p><b>【数値指標達成状況】</b> ・児童の肯定的回答は81.5%であり、指標の80%を上回った。</p> <p><b>【次年度の方針等】</b> ・①については、学級活動における食の指導を栄養士とTTで指導するなど、直接指導の場の工夫をする。 ・②については、「食育コーナー」の配信が生かされているかどうかのアンケートを取り「食の意識」高揚に努めていきたい。</p> <p><b>【数値指標達成状況】</b> 児童の肯定的回答が96.1%と高いが、指標とした100%達成ができなかった。</p> <p><b>【次年度の方針等】</b> ・①に関して、児童の安全に関して、必要な活動を精選し継続して実施していきたい。自転車の乗り方に関しては、児童指導と連携し繰り返し指導していく。</p>
学	<p>A13 児童（生徒）は進んで学習に取り組んでいる。[全]</p> <p><b>【数値指標】</b> 「児童（生徒）は、進んで話し合うなど、積極的に学習している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 学校生活の様々な場面・時間で、その都度話し方・敬語の使い方などを指導し、聞き手を意識した話し方ができるよう指導していく。</p> <p>② 授業中、友達と意見交換の場を設定し、積極的なコミュニケーション能力の育成を図る。</p>	<p><b>【数値指標達成状況】</b> ・児童の肯定的回答は、約91.2%であり、指標の80%を大きく上回っている。</p> <p><b>【次年度の方針等】</b> ・②に関しては、ペア学習やグループ学習等の学習形態の工夫を今年度に引き続き取り入れる。また、コミュニケーションスキルで身に着けたものをグループ学習に生かしていけるよう支援する。</p>
習	<p>A14 児童（生徒）は落ち着いて学習に取り組んでいる。</p> <p><b>【数値指数】</b> 「児童（生徒）は）授業中に先生や友達の話をよく聞くなど落ち着いて学習している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 学習の基盤となる学習態度・学習技能を各学年とも定着させる。 ・チャイムを守って行動 ・学習用具の準備・片付け ・授業中の姿勢 ・ノートの使い方（学年統一）等 （学校評価からの改善）</p> <p>② 話の聞き方を掲示し常時指導しながら、基本的学習習慣の定着を図る。</p>	<p><b>【数値指標達成状況】</b> ・児童の肯定的回答は88.4%であり、指標の80%を大きく上回っている。</p> <p><b>【次年度の方針等】</b> ・①②ともに、基本的な学習の決まりを再確認し、掲示物等も活用しながら全校体制で取り組んでいく。</p>

	<p>B5 家庭学習の習慣が身に付いている。</p> <p>【数値指標】 「自分は家庭学習の習慣が身についた。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 低中高の実態に合わせて作成した「家庭学習のしおり」を活用して常時指導し、基本的な学習に対する姿勢を育てる。 しおり配布の時、懇談会等で保護者に説明の機会を作り、より浸透させていく。(学校評価からの改善)</p>	B	<p>【数値指標達成状況】 ・児童の肯定的回答は、82、9%であり、指標の80%をやや上回っている。</p> <p>【次年度の方針等】 ・家庭学習についての児童の意識を高める指導や課題の内容を工夫するとともに、保護者と協力を依頼する。</p>
本校の特色・課題等	<p>B6 頑張る学校プロジェクト 「本とのふれ合い」を積極的に推進し、読書の楽しさを味わわせ、豊かな感性と逞しく生きる力を培う。</p> <p>【数値指標】 「自分は本を読むことや図鑑などの本を見ること、本を使った調べ学習などが好きだ。」 ⇒児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 多くの本との出会いと読書の楽しさを味わわせるために、週3回の読書の時間を日課表に位置づけ、月2回ボランティアによる読み聞かせを実施していく。 ② 身近な本に親しむ環境作りのために、空き教室を利用した低学年用図書室をさらに整備していく。 ③ 全教科の調べ学習に対応できるよう、必要とされる時期に必要な本の整備に努める。(学校評価からの改善) ④ 家読も呼びかけ、継続して本に親しむよう、働きかけていく。また校内の掲示板を使って、多読賞児童の表彰や本の紹介などを行い、読書意欲を高める工夫を行う。</p>	B	<p>【数値指標達成状況】 ・児童の肯定的回答は、82、7%であり、指標をやや上回っている。</p> <p>【次年度の方針等】 ・④に関して、家読で親子読書を奨励することにより読書への意欲をさらに高めていく。</p>
	<p>B7 頑張る学校プロジェクト 「人とのふれ合い」の推進により、相手を思いやる心や助け合う心を養う。</p> <p>【数値指標】 「縦割り班活動では、他の学年の人とも協力しながら楽しく活動することができた。」 ⇒児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 縦割り班を主体とした活動(春・秋の子ども集会・ふれあい給食・清掃班活動)を設定し、異学年交流の中でコミュニケーション能力を育成したり、思いやりや助け合う心を養ったりする。 ② 登校時のふれあい、地域の方とのふれあい、高齢者との交流、学校支援ボランティア感謝の会等様々な場面における交流活動の中で、児童一人一人のコミュニケーション能力の育成を図っていく。(学校評価からの改善)</p>	B	<p>【数値指標達成状況】 ・児童の肯定的回答は、94、1%であり、80%の指標を大きく上回っている。</p> <p>【次年度の方針等】 ・縦割り班による遊びを今年度に引き続きさらに、充実させていくことにより、異学年交流の中でのコミュニケーション能力を育てていく。</p>

〔総合的な評価〕

(1) 学校の取り組みが成果を上げ、十分に評価されているもの。

- ・学校全体に活気があり、教職員の協力体制と熱心な指導により、適切な学校運営状態である。
- ・教育課程が適切に実施され、教職員は日々の指導に前向きに取り組んでいる。
- ・教育活動充実のため、日々の授業が児童にとって効果的に構成されているとともに、地域社会や企業との連携を図り、幅広い教育の場が提供されている。
- ・学習環境が整備され、児童が活動的に学習や校内諸活動に取り組むとともに、決まりを守ることの大切さを理解し、落ち着いて生活している。
- ・学校情報が様々な形で発信され、地域社会とつながりの深い「開かれた学校」の実現に向け努力している。

(2) 学校の取り組みに、改善の余地のあるもの。

- ・教師の指導方法や授業中の児童の活動の様子などに関し、教職員や児童の評価と保護者の評価に差が見られる。学校の取り組みが十分理解されていない部分や、学習成果に現れないものが評価されにくい傾向にある。理解を得る方策をとると同時に、指導法のさらなる研鑽に励む必要がある。
- ・あいさつ・言葉遣いに関しては「経年比較」によると改善しつつあるが、十分達成できていない。現行の指導を継続するとともに、家庭と連携を深める具体的な方策が必要と思われる。
- ・偏食傾向が顕著であるが、家庭の食生活による影響もあると思われる。食事面からの健康教育や学校給食の調理方法の工夫など、学校教育でできる範囲で改善を図り、保護者への啓発も継続していく必要がある。
- ・児童の家庭学習の習慣化が十分ではない。児童の意識を高めるために、課題の与え方や内容の工夫をしていきたい。
- ・読書に関しては、改善の傾向にあるが、教員と保護者の見方が大きくかけ離れている。評価するにも見えない部分のあることも要因の一つであるとする。読書活動や図書利用学習のさらなる推進と、児童の変容を保護者に理解してもらう工夫も必要と思われる。

## 6 学校関係者評価

- (1) 学校教育活動が円滑に実施され、成果の表れているもの。
- ・交流会が活発に行われていた。高齢者との交流の中で児童が成長した。
  - ・地域行事に学校教職員の協力があつた。地域と学校の連携がよかつた。
  - ・児童の「安全マップ」が子どもの目線でできていて素晴らしいものだった。安全への意識づけができていていると思われる。
  - ・アンケートの結果の数値には表れていないが、地区行事等で見ると児童はあいさつがよくできていると思う。
  - ・授業で授業がいきいきと活動する姿が見られた。
  - ・地域協議会で実施した「会話科特別授業」は大変内容のあるものだった。保護者も聞けるとよかつた。
  - ・様々な形で保健指導が行われ、児童が安心して生活できる環境ができている。
- (2) 改善が必要と思われるもの、提案事項
- 家庭教育力に問題のある部分もあり、地域社会が連携して取り組まなければならない問題が多い。
    - ・親と一緒に、あいさつができない。
    - ・言葉遣いが悪い児童がいる。
    - ・朝、集団登校に間にあわず、一人で登校する児童を見かける。
  - よい環境では問題が起こりにくいと思う。清掃や環境整備に力をいれてほしい。
    - ・児童が考えて清掃に取り組めるようにしたい。(決められた清掃はしっかりできているが・・)
    - ・清掃道具の片づけかたや保管に問題があるように思う。(曲がったものが目立つ)
    - ・ロッカーのささくれだった部分が危険だと思う。
  - 読書活動のさらなる充実の必要があると思う。
    - ・「家庭での読書」を継続的に呼びかけていく必要がある。
    - ・親子で本を読むような機会があるとよいのではないかな。
  - その他
    - ・公共交通機関を利用する経験を学校や家庭で意識的に積ませていってほしい。
    - ・会話科の講師「DJ Kei さん」の話聞く機会があるとよい。

## 7 まとめと次年度へ向けて(学校関係者評価を受けて)

- (1) 今年度の活動をさらに充実させていくもの
- 教職員が学校教育の質を高めるために研鑽に励み、学校が児童のよりよい成長の場になれるよう努力する。
  - 地域社会と連携をはかり、「体験教室」や「ふれあい活動」等の内容を精選して実施し、児童の幅広いキャリア育成に努める。
  - 家庭と協力し、あいさつ・言葉遣い・生活時間等の問題を、児童自身が自覚し、改善に向けた指導を加えながら、基本的な生活習慣形成にさらに力を入れていきたい。
  - 地域への発信を常に意識し、家庭の理解を得ながら、学校の教育活動への協力を呼びかけていく。
- (2) 現行の内容の工夫・改善により、新しい取り組みが必要なもの
- 清掃や環境整備のありかたを見直し、日々の清掃の中で児童が考えて清掃活動に取り組めるよう指導する。
  - 家庭での読書活動を推進する。
    - ・図書利用の必要な家庭学習課題の与え方を工夫する。
    - ・家庭での読書を継続的に呼びかけるとともに、読書会など本に触れる場を意識的につくる。
  - 学校での食育の考え方を家庭へより積極的に伝えながら、児童の健全育成を図る。
  - 地域協議会やPTAとの連携を図り、親子でふれ合う活動や体験活動の中で、家庭における教育力の向上も目指す。